

建設の機械化

2000.10

No. 608



◆巻頭言 公共工事 21 世紀のキーワード	岩本 日出雄	1
有珠山の無人化施工による泥流対策工事	西尾 正巳	3

グラビヤ 有珠山の無人化施工による泥流対策工事

砂防ダム土砂掘削の無人化施工		
—山形県東田川郡六淵ダム堆砂敷整正工事—	猪原 幸司・山科 勝嗣	10
超遠隔制御システム (Multi Link System)		
—雲仙普賢岳赤松川除石工事—		
……………建設省九州地方建設局雲仙復興工事事務所・吉田 貴		15
車載型電気集塵機を用いたトンネル工事換気システムの開発		
……………萩森 健治・酒井 喜久雄・片谷 篤史・村中 浩昭		21
電気クライミングフォーム工法による超高鉄筋コンクリート煙突の施工		
……………田 奇・馬 鵬飛・高橋 義雄		28
トンネル工事におけるマルチメディア情報通信システムの開発		
—情報通信の一元化システム—	今岡 彦三・村本 利行	32
多自由度ブーム装着型油圧ショベルの開発		
……………阿南 徹・中島 亮輔		40
◆ずいそう INTERMAT 2000 を見学して	三沢 昌之	36
◆ずいそう 我が卸団地とウォーキング	新宅 亮一	38
◆部会報告 超高層ビル (RC 造) におけるクレーンの現状と今後	機械部会	45
◆新工法 03-142 全自動吹付けコンクリート製造システム (奥村組・名岐機器)/		
04-207 φ900 泥水式推進工法による長距離釣り針型線形施工 (鉄建建設)/04-208		
低粉塵型トンネル吹付け工法 (三井建設)/10-38 CRT ミキサシステム (西松建		
設・戸田建設・大阪砕石工業所)	調査部会	47
◆新機種紹介	調査部会	51

JCMA

目 次



◆文献調査	石の時代—石器時代：古い建造物の解体ガラの再利用が骨材生産市場に与える影響.....	文献調査委員会	57
◆統計	建設工事受注額・建設機械受注額の推移（2000年7月）.....	調査部会	58
行事一覧	平成12年8月1日～31日.....		59
編集後記	(小林・山口)	62

◇表紙写真説明◇

910 G ホイールローダ

新キャタピラー三菱株式会社

建設現場に限らず、除雪や畜産など様々な用途にご活用いただいている910 F II（標準バケット容量1.3 m³）が、このたびGシリーズとして新発売されましたのでご紹介いたします。

CATホイールローダGシリーズは、新型キャブデザインと傾斜型エンジンフードによる広い視界や高いメンテナンス性、従来機と比べ1クラス上の性能・作業量などを誇る、新世代ホイールローダです。Gシリーズとして、現在までにバケット容量1.5～12.3 m³のラインアップを取りそろえており、今回ご紹介する910 Gはシリーズ中一番小さいバケット容量の機種となります。

＜主な特徴＞

1. 乗りやすさ

HST（Hydro Static Transmission）を採用したことにより、シフトチェンジを行うことなく、アクセル操作だけで加速・減速のコントロールが可能となり、変速による息づきのないスムーズでパワフルな走行を実現しました。

2. 快適な運転環境

新型キャブデザインにより、室内容量が35%アップし、またオペレータ耳元騒音値で71 dB(A)という静粛性も実現。静かでゆったりとした室内で、リラックスした運転が行えます。

また、キャブの総ガラス面積も大幅にアップし、Gシリーズ共通の傾斜型エンジンフードを採用したことによって、キャブからの視界が格段にアップ、作業の安全性向上に大きく貢献いたします。

3. 抜群の静粛性を誇る低騒音設計

周囲の環境に配慮し、騒音レベルを大幅に低減することによって、建設省の1997年度低騒音基準をクリアしました。さらに徹底した騒音対策を施した、超低騒音仕様車もオプションで用意しております。

＜主な仕様＞

標準バケット容量	1.3 m ³
運転質量	6,500 kg
常用荷重	2,160 kg
全長	5,940 mm
全幅(車体)	2,185 mm
全幅(バケット幅)	2,300 mm
全高(キャブ上端まで)	3,060 mm
エンジン名称	CAT 3064-E 2 T
定格出力	68 kW (86 PS) / 2,200 rpm